

平成29年度 国際理解講演会 生徒感想文（抜粋）

- ALT の先生がジャマイカの出身だということもあって、講演会が始まる前から、どのようなことを教えていただけるかなととても楽しみでした。ジャマイカについては漠然とした知識しか持っていなかったけれど、国旗の意味や現地の雰囲気、日本との違いなどを知ることができて、とても有意義な時間でした。同じ高校の先輩が海外でご活躍されている姿を見ると、英語力や国際問題に関する知識にもっと磨きをかけ、僕も国際貢献できるような人間になりたいと強く思います。3年間の国際理解講演会を通じて、普段の学校生活では学ぶことができないことを学ぶことができました。ありがとうございました。（3年生男子）
- JICA の活動内容が様々な仕事を教えたり、子供たちの面倒を見たりなど、たくさんの活動をしていることが分かって、自分も参加してみたいと思いました。ジャマイカの環境がひどいことを知って、日本でもポイ捨てとかがあるけど、それとは比べ物にならないくらいゴミが溢れ返っているということが分かり、何とかしないといけないなと思いました。JICA では様々な国に行っているということを聞いて、自分も行ってみたいと思いました。（3年生男子）
- この講演会を通してジャマイカのことや国際協力とはどういったものなのかということについて学ぶことができました。ジャマイカではポイ捨てが当たり前のように行われていて、町中がゴミだらけという現状を知りました。日本では考えられないけれど、それが文化の違いなのだと思います。また、国際協力について私は貧しい人を助けるイメージを持っていましたが、決してそうではないことを知りました。日本人一人で始めたゴミ拾いが今では100人以上の規模のボランティア団体になっているのがすごいと思いました。小さなことからでも行動することが大切だと思います。（3年生女子）
- 今回、JICA ボランティアの話を聞いてみて、JICA ボランティアがあるということは知っていたけれど、こんなに詳しく話を聞いたことはなく、初めて知ることばかりでした。ジャマイカについても、知らないことがたくさんあって、今までのイメージとだいぶ違って面白かったです。私は将来、留学したいと思っているので、今回の講演会はずごく参考になったし、行くなどこかの国のためになるようなこともやってみたいと思いました。（3年生女子）
- 青年海外協力隊という名前を聞いたことはあったものの、何をしているかは全く知らなかったのが、今日知ることができて良かったです。音楽とか絵とか環境とか、どんな分野でも参加できるということは驚きでした。「環境」とひとくくりにしても、エコバッグやリサイクル工作、ポイ捨てを防ぐ、ゴミ拾いをする、とたくさんできることがあるのだと思いました。それを見つけた大津先生はすごいと思いました。貧困層だけでなく、富裕層も環境のことを知らないというのはびっくりしました。全然知らない地で2年間も過ごしていたということが、本当にすごいと思いました。（2年生女子）

- 「国際貢献とは、子供たちの支援やお金を渡すことだけではない。」という言葉が心に刺さりました。ジャマイカではポイ捨てに罪悪感がないと聞いて、日本の教育との差を感じました。ジャマイカでも、日本でやっているような教育をしていると聞いて、自分の中では貧富の差が激しい国では教育にあまり力が入れていないと勝手にイメージしていたので、考え直させられました。自分のやりたいことのために、JICA に参加するなど、行動力があって凄いなと思いました。（2年生女子）
- ジャマイカのことはウサイン・ボルトのことくらいしか知らなかったけれど、今日で本当にたくさんを知ることができました。月2万円～4万円で暮らしている人がいるなんて、思ってもいませんでした。大津さんはじめ青年海外協力隊の行動力がすごいなと思いました。環境教育からリサイクル工作、エコバック、ゴミ拾いなど、多くのことをわずか5人程度で始めて、それが100人以上でするまでに広がる…すごい一言しかありません。日本で当たり前になっているゴミを拾うという行為も向こうでは違うし、そんな違いを乗り越えて2年間仕事を果たした人が、私たち学科の先輩であることを誇りに思います。（2年生女子）
- JICA の活動について今回詳しく知ることができた。自分たちの先輩が世界で活躍する姿を見てかっこいいと思った。誰かのために役に立つことは難しいことだと思っていたけど、学校で環境教育を教えたりするだけで役に立てると知り、自分も少しやってみたくて興味を持った。将来、国際関係の仕事に就きたいと思っているので、これから自分の英語力をもっと高めていきたいと思った。やっぱり日本で英語を学ぶだけではなくて、留学して英語を学んでみたいと思った。（2年生女子）
- ジャマイカという国は名前しか知らなくて、今日初めて町のことや国事情について知れて良かった。日本とは全く違う環境なのでもっと詳しく知りたいと興味を持てた。色々な取り組みが JICA の手によって拡大されていて、自分もそんな大津さんのような取り組みをしてみたいと思った。そして、日本のことも知ってほしいと思った。アートマイルプロジェクトという取り組みも自分たちにとっても相手国にとってもとても刺激を与え合える、良いものだった。まだ環境問題は日本も解決できてないことが多いので、お互いに協力して解決し合えるのが1番だと思う。（1年生女子）
- 今回の講演を聞いて、貧富の差が激しい、というところが私の中で気になったものの1つです。ジャマイカは、特に深いイメージはなかったのですが、ポイ捨てが当たり前ということに驚きました。大津さんはそれが環境に良くないというのを小学校で教えていると知り、私は日本人で幼いころからポイ捨てはいけないという習慣がしみついているから、当たり前だと思えるのだと感じました。私たち日本人は知らず知らずの間に環境改善に貢献しているのだと知りました。また、日本人がそれを全世界に広めるためにゴミ拾いをするようジャマイカの人に呼び掛けたことがきっかけで、100人以上の現地の人が参加してくれているという事実も知りました。たった一人では何もできないと思っていた私の考えが覆されました。それが世界に広がれば、貧富の差が小さくなったり、環境問題が改善されたりすると思います。もし私がそのようなグループに所属し、貢献できたなら、日本

の良い習慣をもっともっと広めて、良いサイクルにしていきたいです。これからの自分の将来に、外国のこういうところと関われる時があれば、今回のお話をいかしたいです。（1年生女子）

- 中学校の時に青年海外協力隊についての体験談を聞いたことがありました。でも、前に聞いた話とは国や言語、教える内容が違っていて、いろんな活動があることを知ることができました。他の国で教育するだけではなくてそこで学んだことを日本でも役に立てていると知って、素敵な活動だなと思いました。ジャマイカのことや日本の海外に対しての活動について詳しく知ることができ、興味をもつ良いきっかけになりました。（1年生女子）
- 派遣された日本人で、現地の人々と協力して現地の文化に合った形で、町、県、国全体を良くする活動を行っていることがわかった。また、日本の文化も伝えてみんなに知ってもらったり、日本の高校生と現地の高校生との交流を深め、日本について知ってもらおうということもしていると分かった。「国際貢献」とは大それたことを行うのではなく、「自分ができること」で良くしてくということも分かった。自分の価値観ではなく、現地の人々の価値観も踏まえて行動することが大切で、現地の生活を通してできるようになるということが分かった。（1年生男子）